

## 2020年度 川崎市障がい者スポーツ指導者協議会 事業報告書

### 1 新型コロナウイルス感染症対応

- ① 2020年度はこれまで人類が経験したことのない新型コロナウイルス感染症により、スポーツイベントの中止、感染防止対策の徹底、在宅勤務の推進、飲食店の時間制限など様々な制限が実施された。
- ② 当協議会が関係する障害者スポーツも、総会の開催方法の変更、会員数の減少、大会等ボランティアの中止、全国障害者スポーツ大会の中止、市内における団体への会員派遣先の活動中断などが多くの影響があった。
- ③ また、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、大会等ボランティアを控える会員もかなり多くあった。
- ④ しかし、このような状況下でも活動が再開されると、障害者スポーツデーなどに多くの障害者や会員が参加された。
- ⑤ また、川崎市障害者スポーツ協会のご指導のもとで、マスク着用、手指消毒の徹底、短時間での準備や片付けによる現地の滞在時間を短くするなどの感染防止対策を実施した。
- ⑥ 幸いにも川崎市障害者スポーツ協会からの要請に基づくボランティア活動において、新型コロナウイルス感染症による感染者は確認されず、2020年度の事業を終了することができた。

### 2 会員の推移

232名（R元.12現在）⇒189名（R2.7現在）⇒198名（R2.9現在）⇒199名（R2.11現在）  
⇒198名（R2.12現在）

参考：2019年度初級指導者講習会修了者27名⇒2020年度（令和2年度）会員登録  
2020年度初級指導者講習会修了者24名⇒2021年度（令和3年度）会員登録

### 3 会員の育成と活動の促進

(1) 大会及びイベント等への会員派遣の促進

- ① 大会ボランティア参加意向調査を8月、3月の年2回に加えて、11月に意向再確認アンケートを実施し、タイムリーな情報発信と会員派遣先のマッチングを行った。
- ② 川崎市障害者スポーツ協会と協力して、大会ボランティア参加意向調査の結果を共有し、会員へ連絡の徹底を行った。さらに大会実施要領を事前配布することで会員の事前学習につながった。
- ③ 大会等が中止となった場合は、参加予定していた会員への電話やメール等で周知を徹底した。

- ④ 市内団体への継続的な会員の参加を目的として配布していた「ボランティアスタッフ一覧」は、新型コロナウイルス感染症による活動中断を考慮して、未配布となった。

## (2) 広報活動の促進

- ① ホームページを更新して、会員が必要な情報等（大会ボランティア参加意向調査等）を掲載し、会員の拡充に図った。
- ② メールアドレスを登録されている会員に対し、新型コロナウイルス感染症などの情報を発信し、情報共有を図った。
- ③ 協議会ニュースを2回発行した。  
第36号（令和2年8月発行）：会長挨拶、各クラブの活動状況、総会報告、役員名簿、大会ボランティア参加意向調査 他  
第37号（令和3年3月発行）：総会案内、講習会や大会等報告、大会ボランティア参加意向調査 他  
なお、会員以外の障害者関係団体にも協議会ニュースを送付した。
- ④ 会員からの問い合わせについて、きめ細やかに対応した。

## (3) 他機関連携

- ① 会員拡充のため、川崎市の依頼により初級障がい者スポーツ指導者講習会に講師を派遣した。
- ② 市内スポーツ団体の依頼により、講師や審判等イベント開催に対する協力を実施した（川崎ボッチャクラブ 他）。

## 4 会員に向けた事業の開催及び研修会等の実施

### (1) 障害者スポーツデー等への講師及び会員派遣等の協力

- ① 市内で開催されたスポーツイベント（ボウリング大会 他）や障害者スポーツデー（9月から12月まで開催 延べ48名）に会員を派遣した。

### (2) 研修会等の実施

- ① 川崎ボッチャクラブの指導のもと、ボッチャ審判講習会（5名参加）を開催した。

## 5 市内における障害者スポーツの普及と選手育成及び強化

### (1) 選手育成及び強化

- ① 全国障害者スポーツ大会（鹿児島大会）及び強化練習への会員派遣は新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い中止となった。

### (2) 市内における団体への会員派遣の継続

- ① 陸上、卓球、ボッチャ、フライングディスク等に会員を継続して派遣した。

以 上